

07

自立活動

×

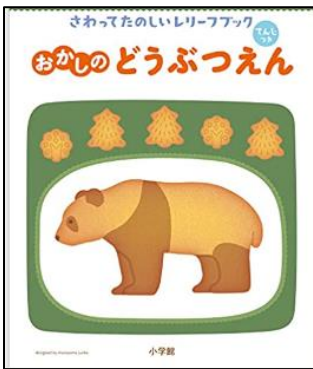
図書
ラウンジ

「絵本」を使った自立活動

～人と関わる力やコミュニケーション、様々な感覚・運動を育むために～



図書ラウンジの本を活用して自立活動の授業をしています。今回はその一部を紹介합니다。もし、図書館や本屋さんで見つけれたら、ぜひ御覧ください。



【さわってたのしいレリーフブック おかしのどうぶつえん】

環境の把握

著者：村山 純子 出版社：小学館

様々などうぶつたちをさわって感じる事ができる絵本です。「ツルツル」や「ザラザラ」、「ボツボツ」など様々な素材の違いを感じることができます。環境把握の視点で本を読みながら手の感触を楽しんだり、動物たちの形を捉えたりしています。ぜひ、手に取って指でたどりながら、形の違いを感じてください。

【かおかおばあ】

人間関係の形成

作：山口 真美 絵：ミスミヨシコ 出版社：KADOKAWA

ページをめくるたびにだんだんカラフルな顔が増えていき、様々な模様や表情を楽しむことができる絵本です。

人間関係の形成の視点で本をみながら「こんな表情できるかな？」や「この表情はどんな表情かな？」等、表情の違いを学習するときに活用しました。ぜひ、ご家庭でも「この顔できるかな？」など子どもたちと一緒に楽しんでみてください。



【ぴょーん】

身体の動き

作：まつおか たつひで 出版社：ポプラ社

ページをめくるたびにいろいろないきものが、「ぴょーん」とはねる楽しい絵本です。

身体の動きの視点で絵本に登場するかえると同じようにジャンプしたり、背中を伸ばしたりしながら身体全身を使って運動しました。ぜひ、子どもたちと好きなどうぶつの「ぴょーん」を見つけてください。



【くだものさん】

コミュニケーション

作：tupera tupera 出版社：Gakken

「くだものさんくだものさんだあれ」の合言葉で、「〇〇さん」と見開きの仕掛けページが開き、様々なくだものが登場します。一定のパターンで展開するため、質問への答えを引き出しやすい特徴があります。

コミュニケーションの視点で児童生徒の主体的かつ活発な応答を引き出しながら読み聞かせすることで、聞く力や伝える力を伸ばすことをねらっています。

